

山中 一英 (やまなか かずひで)

■ 研究分野

教育心理学, 社会心理学, 教師教育学

■ 主たる研究上の問い

学級集団や学校組織のなかで人々がともに学ぶ関係性とはどのようなものか。そして, その関係性をいかにして構築していくのか

■ 具体的な研究テーマ

1. 学級集団

- (1) 教室で展開される友人関係の諸相
- (2) 学級経営のプロセス
- (3) 学級の集団づくりと人間関係づくりを支える授業の構造
- (4) 学級の子ども理解と実践行為を支える教員の認知的枠組みの問い直し (学習観・学習者観の転換)

2. 学校組織

- (1) 教員の専門性とその育成の仕組み
- (2) 新任教員と経験豊富な教員がともに学ぶ学校の組織づくり
- (3) 「優れた教育実践者」であるとともに「優れた教師教育者 (teacher educator)」であるための組織の学びとコミュニケーション

■ これまでのゼミ生の主な「教育実践研究報告書」タイトル

- 学級づくりの過程に関する研究—小学校の一つの学級を対象とした事例分析とそれに基づく実践方策の検討—
- 小学校における「いのちを考える教育」の実践：学級担任と授業を共同構築する試み
- 教師の子ども理解の過程の可視化・言語化をもたらす reflective dialogue に関する研究
- 学校教育における関係論的パラダイムの展開可能性—中学校のバスケットボール部をフィールドにした実践の試み—
- 教員の力量形成に資する授業研究会の実践
- 中学校におけるワークショップ型生徒指導研修の構築過程に関する検討
- 学校のなかで「学校化された学び」を考える営み—教員の省察的探究 (reflective inquiry) に向けた協働的実践の試み—
- 新任教員の学びに関する研究—経験豊富な教員との対話を通じた力量形成過程に関する検討—
- 教員の協働的力量的向上システム構築の試み—小学校でのピアセッションを通じた省察的実践—

■ メッセージ

重視しているのは, 問いを立てるプロセスです。誤った問いの立て方では, 実りある答えにたどり着けません。また, 既存の知識や価値体系について, それは学習の起点であって, 習得すべき目標ではないということ。吟味の対象として批判的に接近していくことが大切です。あたたかく柔らかく知的に思考することのよこびや楽しさを分かち合うゼミでありたいと思っています。